（第21号）昭和24年12月24日　磐城日報　（一）刊日曜土　夕刊

磐城日報

市白銀町十一
發行所　磐城日報社
電話（呼）一〇三八番
編集　後藤幸夫
發行人　丸山德平
印刷人
毎週水曜日休刊
購讀料
一ケ月三十円　一部一円

六候補最后の審判

各投票場とも出足澁る

二、三の候補が街頭演説をも澁つて各會場とも前回の成績は如何、市の午前十一行つた位であまりパッとしようではないもつども地元時現在を見ると有權者數一なかつた平地方の今度の參からだれも出ず皆んな他所万七千四百三十二名（男八院補欠選擧も今二十四日はの候補者ばかりという点で千六十七名女九千三百六十いよ〳〵最後の審判が六候あまり乘り氣もしないのか五名）中とう票數は二千二補へ下された日だ、市ではも知れない、それでも第二百三十名（男千三百三十五公會堂をはじめ第二、第三第三の投票場は區域が會社名女八百九十五名）とう票第四小學校講堂と二中分校工場の勤人が多いので午前率は一割余という低調さで の五ヶ所を投票場として午七時開場と同時に數十名が いま迄にない不成績を見せ前七時から受付を開始したなだれ込んで投票用紙を係ている尚某管理員氏は出足早朝から雨で投票には余り吏員から受取りそれぞれ意の多いのは午后二時から三結構でない日これが爲出足中の人を記入して投票した時迄であるからそんなに棄權率はそんなに多くなるまいと語つていた

市郡を通じ

石原氏は最高点

平市並に石城郡の開票は即わが黨候補を落すなゝと支日だから明朝六時頃には各持したのと縣知事として選候補の得票總數が判明する擧民に名が知られた結果で が六候補中たれが一番多く郡市を通じ約十六萬五千近票を得られるかというと平い票中約四割の棄權無効を地方ではなんといつても石見たとしても半分の五万は原幹市郎氏でこれは郡と市獲得するものと豫想されての民自黨が全力を擧げてゝいる

十一時迄の

投票率は僅か一割余

參議院の性格そのものが一般選擧民にぴつたり來ない故平市の投票熱は至つて低調、縣選擧管理委員長は殊更らに各市町村選擧管理委員長宛電報を發し啓蒙宣傳を依頼して棄權防止に躍起となつたがさてそのとう票二十四日午后一時から同所で表彰したが表彰者は料理店平市松本樓（松本傳長）外四名飲食店平市コンパル（高橋松三）外十九名水産加工四倉町濱通農組四倉工場外一名牛乳處理場平市岡田健治食肉販賣業三三三屋齋藤ヒネヂ）外二名。

濱の水揚

今月も不漁

平市の縣水産事務所で調査した十二月上旬の縣下の水揚高は四十八万三千四十貫で昨年の同期に比べ實に百余万貫の減殊にいわしの如きは僅かに八十貫しか水揚げなくさんまも不漁で激減してる

優良飲食店

平保健所で表彰

既報）平保健所では食品衛生關係の優良店三十五軒を選び表彰したが表彰者は料理店平市松本樓（松本傳長）外四名飲食店平市コンパル（高橋松三）外十九名水産加工四倉町濱通農組四倉工場外一名牛乳處理場平市岡田健治食肉販賣業三三三屋齋藤ヒネヂ）外二名。

初ちやん燒死

内郷町高坂五一後藤けさよ

内郷町高坂五一後藤けさよさん（二〇）の長女初子さんは二十三日午后五時半頃自宅で電熱器にはまり火傷翌朝五時死亡した。

死傷七名

望海炭礦の坑内火事

（既報）茨城縣望海炭礦の坑内發火事件は平石炭局で調査の結果次の如く判明した死亡者早坂豊（二〇）岩佐喜久（四四）藤田正（一九）山口駒一（三四）の四氏外に小野濱進（四三）坪和久三郎（三三）加藤三夫（三三）の三氏は意識不めいで救護員の手により病院にかつぎこまれ七時間后意識を恢復した原因は坑内の石炭がもえ同時にガスが發生してちつ息したものらしいという事である。

勿來炭礦の火事

今二十四日午前〇時半頃勿來町勿來炭礦の鍛冶場から出火同一棟を全燒して一時十五分鎮火原因損害町署で取調中

會と催し

◆…湯本町本年掉尾の町會は二十三日午后一時から開會會議案を可決四時散會した

◆…石城郡鑛關係町村長會議は二十三日ゴ前十時から湯本町役場會議室で行つた

フラワのパーテー

平市田町フラワホールでは二十五日晝一回夜二回に分け樂團を招いて大々的にクリスマスパーティを催す

むぎを盗んで

石城郡神谷村鎌田猪符一（三三）は平市正月町平製麥工場に雇はれ中去る十月下旬から十二月中旬迄にむぎ一石三斗を時價一萬三千圓を盜み賣り捌いた事發覺二十一日平市署へ

☆街の話題☆

見てきれい。食べておいしい品揃え

コロツケの店「豊松」と皆様おなじみの平製**パン**とのコンビで

平市一町目に**アメリカン**型**ニュースタイル**の賣店が開店皆様の御出をおまちしております

雨十風五

食糧が豊富になると勢いゼイタクになる、じゃがいもできへ極めて有難がつた時代は既に去り今では見向きもされない、これが爲配給辭退が續出して配給すべきいもは俵の中でくさり、これが處分に公團ではネをあげているとの事、しかしこの辭退は食糧の豊富から來たものとばかりわいはれず、大半は金詰りによるジ退である事が受配者の言によつてよく判る事である。公團ではこの際じやがいもを俵でくさらかすより国民へ二度或は三度拂い位で貸賣りする氣はあるまいか、配炭公團が石炭を何十億と貸賣りしてこれが回收に手を燒いているというが、まさかじやがいも階級は資本家ではないからそんな御迷惑は政府にかけまいと思ふ

ニュースタイル寫眞スタヂオ開設お知らせ
二十二日より寫眞撮影を始めました七色の配光電球は皆様の御出をお待ちしております。
平市四町目本局前
金太郎寫眞部

靴專門店
平製靴工業株式會社
直賣店　菊一靴店
日下年末特價賣出中
平市三丁目
電話　四四六
一〇八八番

御婚禮　御着附
お正月の御支度
備設　術技
パーマネント
萬全の
優秀の
美容一般
水野化粧院
平驛前
電八七六

常磐炭一月輸送

福島茨城合計二十七万トン

常磐炭一月の輸送會議は二十日平石炭局で行はれたが計畫輸送は次の如く決ていぬ綴驛八万五千六百トン、湯本同六万七千八百トン、植田同一万二千トン、平同二万六千トン、勿來同一万七千五百トン、赤井同五千七百トン、小川郷同二千五百トン、關本〃一万五千トン磯原〃二万二千トン、南なか郷〃一万六千トン、高萩〃一萬七千トン、川尻〃七千五百トン、合計二十七萬トン

新廳舎の各課配置

新廳舎へ移轉した平市役所は階下が配給等の經濟課をはじめ税務、社會教育土木の各課と助役室二階は市長の外正副議長、議員委員會の控しつと消防選擧督理委員の各室に新聞記者室となつており電話も五本の局電話の外廳内交換台を設けて各課へ連接する合計三十本が設置されている

今月の失業者

五百名突破

一月の登録も五百を下らない狀態となつた

現在同所に登録し又は需給してる者は現在二千人に及んでいるが增すとも減る樣な事がないので調査課長も極めて悲觀してる尙失業者の大半は各種公共事業に斡旋してるが地理的關係や給與額の少額等を理由に就業を拒むものも相當にある

好間の不良

いよ〳〵ばつこ

好間村北好間地内の各店舗では夜間進出する與太ものはじめ税務、社會教育土木の行狀に悲鳴を上げている

の各課と助役室二階は市長が過般全字の某酒店へ午后十一時頃就寢しようとする

の外正副議長、議員委員會の控しつと消防選擧督理委員の各室に新聞記者室となつており電話も五本の局電話の外廳内交換台を設けて各課へ連接する合計三十本が設置されている

校庭竣工延期

よしま村上よしま新制中學校グランドの擴張工事は年内に竣工を見る豫定であつたが氣候不順のため遂に來春へ持越される事になつた

貧困者救濟の資金募集

久ノ濱町民生委員會並に久ノ濱町役場では二十八日久ノ濱劇場で貧困者救濟資金募集のためマーガレットシスターズ〃樂團を招いて公開する

聲

ゴミという言葉ほど不快なものはない、そのゴミも捨場がないとなればどこへでも捨てるより外方法がない事でます〳〵きたないものになる、平驛前といつても白銀通りにいつも山積してるのがあのゴミだ、一体全体どうしたわけなのだろう、地元の人々は慢性になつて感じないのか、それとも市當局へかけあつてもヌカに釘なのがわれ〳〵には判斷がつかないが、あんなに山にしてたのでは全く迷惑な話だ、炭勞の會館が大工町にあつて色々な人が通るのに、あんなにしていては外聞が悪い話、市當局では一日も早く善后策を講じられん事を切ぼうする

(鐵官S生)

9
99
999

靴なら良品
豊富　しかも年末
特價提供
スガタ靴メーカー
平銀座通り
電一一〇四番

靴專門店
平製靴工業株式會社
直賣店　菊一靴店
目下年末特價賣出中
平市三丁目
電話一〇八八四四六番

カレンダー
御註文に應じます
製調入名
山刷所印丸

榮
放出配給補修布
純綿カッポーギ
純綿ワイシャツ
純綿足袋
服地、銘仙友仙、
大特價賣出し
小野榮吳服店
平市四丁目
電五一五

美女　美劍士
謎の怪人物
入り亂れて波瀾万丈修羅八荒！
痛快無二の大時代劇！
18日ヨリ—26日マデ
(9日間)
甲賀屋敷
監督　衣笠貞之助
出演　長谷川一夫
山田五十鈴
黑川彌太郎
長谷川裕見子
世界館

平で一番安く美味しい
中華料理は平華です
大奉仕
ラーメン
支那そば
ワンタン
三十圓
★出前迅速★
松吉屋酒造店吟醸
生詰銘酒「鶴仙」特約販賣
中華料理　平華
平驛前　電九〇八番